

安倍は退陣！ 命と暮らしを守る政治を！ 市民と野党の共闘で頑張ろう！

7. 19 岐阜総がかり行動 ～第16弾～

お礼とご報告

2020年7月19日

戦争させない・9条壊すな！岐阜総がかり行動実行委員会

代表 河合良房

皆さん

“7・19 岐阜総がかり行動”にご参加いただきありがとうございました。心配されていた雨は全くなかったものの、暑い夏の日差しが蒸し暑さと共に襲ってきました。新型コロナウイルス感染を避けるためにマスクをしているため、その暑さ、蒸し暑さはひとしお身体にこたえるものであったと思います。他方、先の「4・19行動（第15弾）」をコロナウイルスの関係で中止とし、第16弾は約6カ月振りの行動であっただけに、待ちに待ったという方もおられたのではないかと思います。とはいえ、まさに第2波が襲ってきている状況下でもありました。

集会・デモでは、繰り返し、コロナ感染防止対策と共に熱中症対策を呼びかけました。実行委員会でも、参加者には参加票を用意し、氏名と電話番号を記載してもらいました（事故なく2週間を経過した後は廃棄します）し、消毒液も用意しました。コールのリフレイン部分を少し変えました。熱中症対策としては日傘の使用を呼びかけました。

そんな状況にもかかわらず、180名以上の参加がありました。デモの途中、隊列を離れられた方がありましたが、皆さんが短くしたデモの最終地点（からくり時計前）に戻ってこられました。皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。お礼を申し上げます。

また、都合で参加できなかった皆さんには、この集会・デモの様子を報告します。



本集会では、オープニングとして、がまの油売り調の口上を行いました。副代表の高橋さんが作り、鷺見さんが演じました。主としてアベノマスクやコロナ対策に関連し、安倍政治の無為無策、二枚舌などを風刺するもので、大変痛快であり、そうだそうだと留飲を下げるものでした。そして会場の雰囲気は盛り上がるものでした。



その後、代表の河合より、開会のあいさつをしました。特に、先の国会における野党共闘の成果を披露しました。一律10万円の特別定額給付金の実施、委託事業の再委託問題の解明、イージスアショアの計画撤回、検事長定年延長の撤回など、本当に頑張ってくれました。しかし、それらを支えたのは、国民、市民の大きな声、拡がりを持った運動、SNSの利用などであったことも忘れてはいけません。やはり、市民と野党の共闘があってこそその成果であり、これからの展望を示してくれるものです。

その後は、立憲民主党岐阜県連合の副代表の阪口直人さんから、日本共産党岐阜県委員会の書記長・高木光弘さんから、社会民主党岐阜県連合の代表





・森廣茂さんから、それぞれ熱い連帯のメッセージをいただきました。阪口さんは初めての参加であり、国連カンボジア暫定行政機構（UNTAC）や国連モザンビーク活動（ONUMOZ）での勤務経験が話されました。高木さんはこれまで何度も参加していただき、本当に感謝です。森さんも足腰に不安がある中、中津川から何度もお出かけいただきありがとうございます。国民民主党岐阜県総支部連合会からは、欠席のため代表・伊藤正博さんからのメッセージを紹介しました。



最後には、ステージ上で、野

党の方3名と「岐阜総がかり行動」の河合とが、高橋副代表の音頭取りで、「安倍は退陣！で、市民と野党の共闘で政治を変えよう！」とコールをしました。



その後のデモは、いつものコースでしたが、先に述べたように、コロナ感染防止対策と熱中症対策の関連で、デモの最終地点を金公園でなく、途中の「からくり時計前」にし、コールでも参加者のリフレイン部分を短くして、行ないました。約50分のデモでした。明さん本当にお疲れ様でした。

なお、会場での「岐阜総がかり行動」へのカンパは5万円でした。皆さん、ありがとうございました。今後の活動に、活かしていきます。

次回（第17弾）は、2020年9月19日（土）の予定です。あの安保関連法（戦争法）が強行採決された、2015年9月19日から、ちょうど5年目という日です。是非、ご参加ください。

安倍は退陣！ 命と暮らしを守る政治を！
市民と野党の共闘で政治を変えよう！
皆さん 頑張りましょう！

